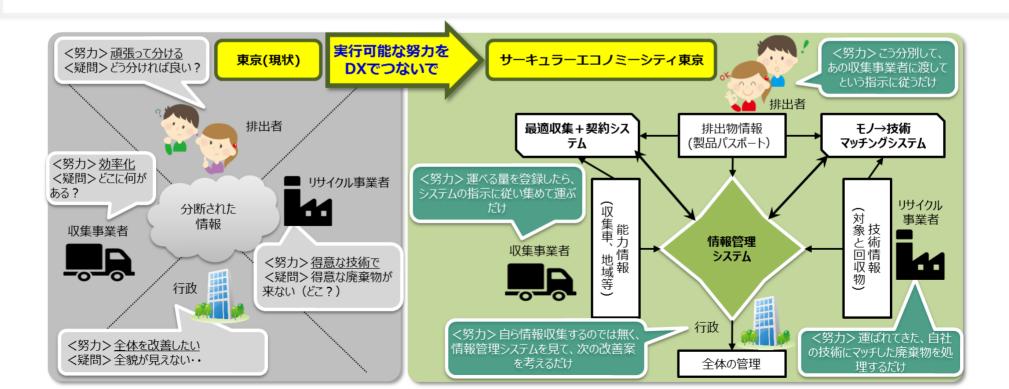
No.11

## DXで資源循環を変革する 東京型サーキュラーエコノミーの実現

1.5 億円程度

(事業期間 3年間)

廃棄物発生時に製品情報を読み込むことで、適切な排出区分が指示され、自動的に 適切な形で収集・処理されていくシステムを開発し、サーキュラーエコノミー シティ東京を実現する。



No.11

## 事業内容の詳細

## O 関係者の努力をDXでつないで、無理なくサーキュラーエコノミーシティを実現

- 資源循環の効率化には、適切なリサイクルを実施するため排出者の分別排出努力が必要。排出者が廃棄物情報をスマホ等で読み取り、システムがリサイクル技術とマッチング、リアルタイムで回収・運搬・処理する一連の流れを設計する。
- リサイクル事業者は、自社技術に適した廃棄物が来るのでその最適化努力に集中できる。収集・運搬事業者も、自社の能力に見合った適切な指示をシステムから受け取れる。DXにより各者の努力を最大化する本システムを商業施設や居住地区で実証。

## 事業実施による効果

分別排出努力、収集運搬能力、処理技術、すべてがDXによる情報連携により最大限活用されるようになり、大都市圏東京の高い資源循環ポテンシャルを最大限引き出す。